

2 令和元年度の取組状況・成果

(1) 方針別取組状況

令和元年度における取組状況としては、全41プラン中、計画以上に進捗したものが4プラン（S評価、全体の9.8%）、計画どおりに進捗したものが35プラン（A評価、全体の85.4%）、概ね計画どおりに進捗したものが2プラン（B評価、全体の4.9%）となりました。

※各評価のプラン数の全体に対する割合は、表示単位未満を四捨五入しています。

【年次評価区分】

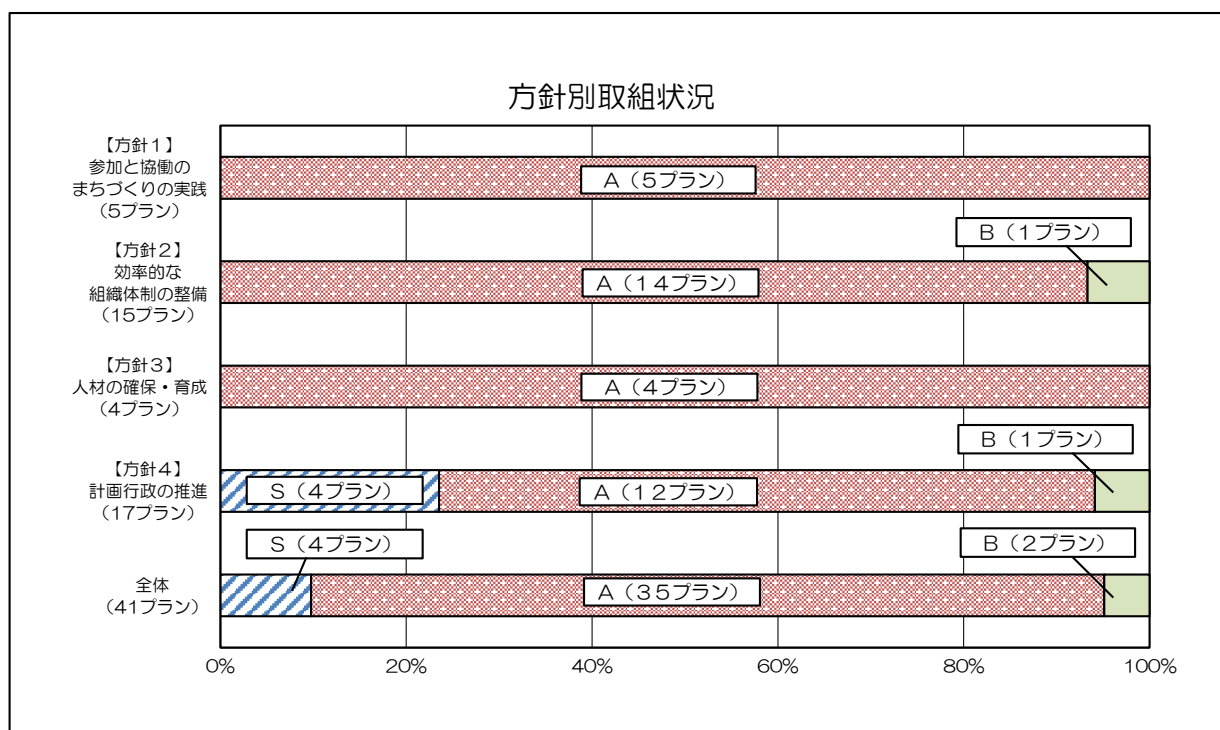
年度別計画に対する進捗状況についてS～Dの5段階で評価したものです。

S：計画以上に進捗 A：計画どおりに進捗 B：概ね計画どおりに進捗

C：進捗にやや遅れが見られるなど、改善が必要 D：進捗に遅れが見られるなど、抜本的な改善が必要

方針		年次評価	年次評価				
			S	A	B	C	D
方針別 評価 状況	【方針1】 参加と協働のまちづくりの実践	5プラン	—	5プラン	—	—	—
	【方針2】 効率的な組織体制の整備	15プラン	—	14プラン	1プラン	—	—
	【方針3】 人材の確保・育成	4プラン	—	4プラン	—	—	—
	【方針4】 計画行政の推進	17プラン	4プラン	12プラン	1プラン	—	—
合計 41プラン			4プラン	35プラン	2プラン	—	—

※各プランにおける主な成果等については「2(3)各プランの取組状況一覧」及び「資料編く進行管理シート集」をご覧ください。



(2) 行革プラン2019の3つの重要な視点における主な成果

行革プラン2019では、調布市基本計画に位置付ける各施策・事業を着実に進めていくために、「事務の効率化」、「アウトソーシングの推進」、「公共施設等マネジメントの推進」の3つの重要な視点を掲げています。主な取組成果については以下のとおりです。

事務の効率化

現状における業務の内容や進め方の検証（業務分析）などを踏まえ、業務プロセスの見直しによる事務の簡素化や、ICT^{*1}、AI^{*2}、RPA^{*3}などの活用による事務の効率化に取り組みます。

※1 ICT（Information and Communication Technology）…情報通信技術のこと

※2 AI（Artificial Intelligence）…人工知能のこと

※3 RPA（Robotic Process Automation）…人が行う定型的なパソコン操作を自動化するソフトウェアのこと

<令和元年度における主な成果>

○RPAの継続的な活用や会議録作成支援システムの新規導入など、各部署における事務の簡素化・効率化の取組を推進することができました。【プラン9関連】

○RPAの活用に向けた業務内容の調査結果や、各課における検討状況を踏まえ、AI、RPA等の活用に向けた調整を行い、令和2年度予算編成につなげました。【プラン9関連】

アウトソーシングの推進

公立保育園や児童館の運営、学校給食調理業務のほか、庁内における窓口及び内部事務なども含めて、幅広く民間活力の活用に取り組みます。

<令和元年度における主な成果>

○公立保育園における民間活力の活用に向けて、「調布市公立保育園における民間活力の活用に関する方針【公設民営保育園】」を策定するとともに、公設民営保育園1園（深大寺保育園）について、令和2年4月1日から公私連携型保育所^{*1}へ移行することとしました。【プラン11関連】

※1 児童福祉法に基づいて調布市と協定を締結した公私連携法人が、協定に基づく市の関与を受けながら運営を行う私立保育所のこと。

○児童館における民間活力の活用に向け、「調布市児童館の今後の在り方、運営に関する方針」を策定するとともに、令和2年度から1館（深大寺児童館）について併設学童クラブを先行委託することとしました（令和3年度には児童館を委託する方向としました）。【プラン12関連】

○平成30年度に実施したプロポーザル方式による委託事業者の選定により、令和元年度から、新たに八雲台小学校の学校給食調理業務委託を行い、更なる民間活力の活用を進めることができました。【プラン13関連】

○高齢者支援室（介護保険担当）において、アウトソーシングが可能な業務や委託の際の業務フロー等の整理を行うことができました。次年度以降も引き続き、委託範囲や費用対効果等の課題を踏まえて複数年次の視点でアウトソーシングの検討を継続します。

【プラン14関連】

公共施設等マネジメントの推進

調布市公共施設等総合管理計画の基本方針に基づき、個別施設の在り方、方向性を示す（仮称）公共施設マネジメント計画の策定や、市庁舎、グリーンホール、総合福祉センター、学校施設の整備のほか、官民連携モデル事業（クリーンセンター跡地活用事業）などに取り組みます。

<令和元年度における主な成果>

○公共建築物維持保全計画に基づき、基本計画に位置付けた改修工事等を適切に実施しました。【プラン36関連】

○公園施設長寿命化計画に基づき、南深大寺児童遊園（複合遊具）、山野公園（複合遊具）、けやき児童遊園（回転遊具）、大町児童遊園（スプリングシーソー）、光ヶ丘仲よし公園（回転滑り台）等の改築・更新工事を実施しました。【プラン37関連】

○現在の仙川汚水中継ポンプ場を自然流下方式へ切替える方向性を決定しました。【プラン37関連】

○調布市道路総合管理計画策定等推進委員から意見聴取をしながら、現状の道路管理手法について共有するとともに、将来的な道路管理の在り方等について、検討を進めました。【プラン37関連】

○市庁舎免震改修工事の適正な工程管理を実施することができました。【プラン38関連】

○公共施設等マネジメント推進検討会議を実施し、（仮称）調布駅周辺大型公共施設（総合福祉センター・グリーンホール）に関する整備の考え方の整理に向けた検討を進めました。【プラン39関連】

○学校施設の長寿命化、児童生徒数の将来推計を見据えた不足教室対策、食物アレルギー対策の推進及び避難所機能強化など、調布市学校施設整備方針の基本的な考え方に基づく学校整備を実施することができました。【プラン40関連】

○公共施設等総合管理計画に基づく公民連携のモデル事業として、クリーンセンター移転後の跡地を活用した、地域ニーズへの対応や行政課題の解決に資する施設を整備するに当たり、事業者公募プロポーザル審査を実施し、事業者を選定することができました。【プラン41関連】

(3) 各プランの取組状況一覧

各プランにおける令和元年度の取組による主な成果等は以下のとおりです。

【年次評価区分】

年度別計画に対する進捗状況についてS～Dの5段階で評価したものです。

S：計画以上に進捗 A：計画どおりに進捗 B：概ね計画どおりに進捗
C：進捗にやや遅れが見られるなど、改善が必要 D：進捗に遅れが見られるなど、抜本的な改善が必要

方針		年次評価	S	A	B	C	D
方針別評価状況	【方針1】	5プラン	—	5プラン	—	—	—
	【方針2】	15プラン	—	14プラン	1プラン	—	—
	【方針3】	4プラン	—	4プラン	—	—	—
	【方針4】	17プラン	4プラン	12プラン	1プラン	—	—
合計		41プラン	4プラン	35プラン	2プラン	—	—

【方針1】参加と協働のまちづくりの実践

No	プラン名	担当課	年度別計画 (令和元年度)	年次 評価	総括 (主な取組、取組による成果等)
1	市民参加と多様な主体との連携・協働の推進	政策企画課 協働推進課 情報管理課 関係各課	<ul style="list-style-type: none"> ◆パブリック・コメント手続条例及び審議会等の会議の公開に関する条例の適切な運用 ◆市民参加プログラム等の課題整理・見直し検討（市民参加・協働の実践を踏まえた運用改善） ◆多様な主体との協働・連携 ◆市民等による地域情報化における多様な主体との連携 	A	<p>○パブリック・コメント手続条例及び審議会等の会議の公開に関する条例について、実践状況を踏まえた運用改善に努め、適切な運用を図ることができました。</p> <p>○市民と市職員が対等な立場で対話するワールドカフェ方式のワークショップなど、新たな取組を含め様々な市民参加手続を実践する中で、幅広い市民意見の把握につながる創意工夫や運用改善に取り組むとともに、市民をはじめ、民間事業者やNPO法人など多様な主体との連携・協働を図ることができました。</p> <p>○地域情報化に関して、市民等が主体となって平成30年度に実施した市民アンケートを踏まえて開催した講演会は、定員を超える応募があるとともに、参加者アンケートでは、今後の地域情報化の推進を期待する内容が多く寄せられ、市民団体等による情報発信の推進につながる取組となりました。</p>
2	市民活動・地域コミュニティ活動に関する支援の推進	協働推進課	<ul style="list-style-type: none"> ◆市民活動・地域コミュニティ活動の支援に関する取組の検討・実施 ◆地域活動情報紙を活用した市民活動のきっかけづくり ◆地域コミュニティサイト「ちょみっと」を活用した情報提供・情報共有の推進 	A	<p>○「スポーツ・運動・健康」をテーマにした地域活動情報紙を発行し、情報を掲載した団体から「活動を知ってもらえた」との御意見をいただくなど、情報紙を通じて市民活動の普及・促進につなげることができました。</p> <p>○地域コミュニティサイト「ちょみっと」において、「地域の活動レポート」を活用したイベント紹介を充実させるなど、市民活動の情報発信を継続的に促進しました。</p> <p>○市民活動支援センターと協働で地域人材育成講座を実施し、市民活動の活性化に寄与する取組を推進しました。</p>

No	プラン名	担当課	年度別計画 (令和元年度)	年次 評価	総括 (主な取組, 取組による成果等)
3	コミュニティ施設の 在り方検討	協働推進課	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域福祉センターの利活用促進に関する取組の検討 ◆ふれあいの家における課題の整理 	A	<p>○富士見地域福祉センターでは、利用者の要望を踏まえたバリアフリー化など、施設改善を図った。また、その他の地域福祉センターにおいて、これまでに新たに付加した機能（開放的なロビーや多目的室の設置等）について利用状況を整理しました。</p> <p>○ふれあいの家については、類似機能を有する国立市等の施設を対象にヒアリングを行い、施設の運営における課題の整理に取り組みました。また、各運営委員会に対するモニタリング調査と併せて、利用者アンケートを実施し、集会所に求められる機能の把握・分析を行いました。</p> <p>○指定管理者制度によりコミュニティ施設の運営を行っている近隣自治体や、集会所機能が類似する施設のヒアリング調査を実施することで、他市においても同様の課題があることを把握しました。また、その課題解決の一つとして令和2年度に一部の施設で導入が決定している電子錠の運用データを検証することで、今後のふれあいの家の支援方法を整理します。</p>
4	積極的な市政情報の提供	広報課 総務課	<ul style="list-style-type: none"> ◆ソーシャルメディアを活用した市政情報の提供及び調布のまちの魅力発信 ◆ウェブアクセシビリティガイドラインに基づく取組の推進 ◆ホームページリニューアルの検討 ◆広報手法の検証及びより効果的な手法の検討、活用 ◆オープンデータの取組推進 	A	<p>○市報やテレビ広報をはじめ、SNS（Twitter, Facebook及びInstagram）を活用して、市政情報や台風19号、新型コロナウイルス感染症に関する緊急情報を積極的に発信することで、多様な市民ニーズに応えた情報発信を実施しました。併せて、ラグビーワールドカップの開催に伴い、調布関連の情報を積極的に発信することで、市内外の多くの方に調布の魅力を伝えることができました。</p> <p>○多様化した市民ニーズに対応し、より幅広く情報を発信するため、アプリ等の広報手法の検討を進めました。</p> <p>○オープンデータの取組に関して、職員の意識啓発を目的とした説明会を実施するほか、各課に対して情報公開の観点からオープンデータの積極的な公開を呼びかけたことで、職員のオープンデータに対する意識やイメージが向上し、オープンデータの積極的な公開につながることができました。</p>
5	適正な公文書管理の推進	総務課	<ul style="list-style-type: none"> ◆文書管理システムを活用した文書管理事務の推進 ◆非現用文書の整理、修復、デジタル化の推進 ◆文書管理に関する研修等の実施 	A	<p>○文書管理システムの操作方法等の問合せに対応し円滑な運用に努めることにより、公文書の適正な管理を推進することができました。</p> <p>○町村合併を中心に資料の修復を行うとともに、デジタル化（682コマ）を実施することで、資料の適正な保存などにつながることができました。</p> <p>○文書管理について、令和元年度の定期監査の指摘事項などを踏まえた研修等を実施することで、適正な公文書管理の推進につなげました。</p>

【方針2】 効率的な組織体制の整備

No	プラン名	担当課	年度別計画 (令和元年度)	年次 評価	総括 (主な取組, 取組による成果等)
6	組織体制の整備	行財政改革課 政策企画課 関係各課	<ul style="list-style-type: none"> ◆翌年度当初の常勤職員定数の抑制（令和元（2019）年度当初の常勤職員定数1266人以下） ◆組織横断的な連携の推進 ◆法改正・制度改正等への対応を踏まえた体制整備の検討、実施 ◆収納事務（市税及び国民健康保険税）の一元化に向けた検討、準備 	B	<p>○組織及び職員体制整備方針に基づく各部との協議及び総合調整を踏まえて、施策・事務事業の推進や法改正・制度改正への対応等に伴い体制の強化等を行う一方、施策・事務事業の効果的・効率的な推進や民間活力の活用等に伴う見直しを行うことにより、令和2年度常勤職員定数については、前年度から3名増となる1269人となりました。</p> <p>○収納事務の一元化に向けて、各部署における体制や分担、業務内容等の把握や相違点の確認を行い、次年度以降の取組を検討しました。</p>

No	プラン名	担当課	年度別計画 (令和元年度)	年次 評価	総括 (主な取組, 取組による成果等)
7	監理団体の活用・連携の強化	行財政改革課 関係各課	<ul style="list-style-type: none"> ◆「調布市における監理団体活用の考え方」に基づく取組の検討, 実施 ◆市からの委託事業及び補助事業に関する事業検証手法の検討 ◆組織の活性化に向けた, 研修, 人材交流, 人事評価等の検討, 実施 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○監理団体に関する役員・職員の状況や, 財務状況等を公表することで, 監理団体に関する透明性を確保することができました。 ○市からの委託事業及び補助事業に関する事業検証手法について, これまでの課題を整理し, 次年度の実施に向けた準備に取り組みました。 ○監理団体における人材育成を促進することで, 組織の活性化につなげる観点から, 各監理団体所管課と連携しつつ, 人事評価制度の導入に向けた取組を進めていくこととしました。
8	情報システムの総合的かつ計画的な管理の推進	情報管理課	<ul style="list-style-type: none"> ◆改修経費に関する評価の実施及び税総合システムの更新・運用開始 ◆ハード面における情報セキュリティ対策の検討, 実施 ◆ソフト面における情報セキュリティ対策の検討, 実施 ◆事務の効率化を踏まえた庁内OA端末の更新 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○新税総合システムについて, スケジュールに沿ってテスト等のシステム構築作業を実施し, 令和元年12月1日に運用を開始しました。 ○庁内OA端末のうちWindows 7端末を全台, Windows 10端末に入替えを完了することができました。 ○全職員(非常勤職員, 臨時職員を含む)を対象に情報セキュリティ研修を実施しました。
9	事務の簡素化・効率化の推進	行財政改革課 関係各課	<ul style="list-style-type: none"> ◆AI, RPA等を活用した先進事例の情報収集, 研究 ◆事務の簡素化・効率化に関する取組の検討, 実施 ◆事務の簡素化・効率化に関する職員の意識醸成の取組の検討, 実施 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○RPAの継続的な活用や会議録作成支援システムの新規導入など, 各部署における事務の簡素化・効率化の取組を推進することができました。 ○次年度に向けて, 議会改革の取組と連動して, タブレット端末を活用したペーパーレス会議システムを導入するため, 行政視察を実施するなど, 関係部署と連携しながら検討を進めました。 ○事務の簡素化・効率化や, 時間外勤務縮減などの取組について, 令和元年度職員提案制度(改善報告)で募集し, 庁内で取組事例を共有することで, 職員の意識醸成につなげるすることができました。
10	民間活力の活用	行財政改革課 関係各課	<ul style="list-style-type: none"> ◆民間活力の活用に関する事例の情報収集, 研究 ◆民間活力の活用検討, 実施 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○市における民間活力の活用の推進に向けて, 他の自治体における取組事例についての情報収集に取り組みました。 ○各部署の状況等を踏まえ, 施設の管理運営や内部事務等における民間活力の活用について検討を行いました。
11	公立保育園における民間活力の活用	子ども政策課 保育課	<ul style="list-style-type: none"> ◆公立保育園における民間活力の活用の検討・推進 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○公立保育園における民間活力の活用に向けて, 「調布市公立保育園における民間活力の活用に関する方針【公設民営保育園】」を策定するとともに, 公設民営保育園4園について, 今後の公私連携型保育所への移行に向けて, 事業者との協議を進め, 1園(深大寺保育園)について, 令和2年4月1日から公私連携型保育所へ移行することとしました。 ○公設公営保育園における民間活力の活用に関する方針の策定に向けて, 職員や職員団体との協議のほか, 庁内関係各課と連携した調整を進めるとともに, 公設公営保育園の役割等を検討しました。
12	児童館における民間活力の活用	児童青少年課	<ul style="list-style-type: none"> ◆児童館の今後の在り方や運営に関する方針の策定 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○児童館における民間活力の活用に向け, 「調布市児童館の今後の在り方, 運営に関する方針」を策定するとともに, 令和2年度から1館(深大寺児童館)について併設学童クラブを先行委託することとしました(令和3年度には児童館を委託する方向としました)。

No	プラン名	担当課	年度別計画 (令和元年度)	年次 評価	総括 (主な取組, 取組による成果等)
13	学校給食調理業務における民間活力の活用	学務課	<ul style="list-style-type: none"> ◆給食調理業務の受託者における業務の実施状況の検証 ◆給食調理業務における民間活力の活用検討, 実施 	A	<p>○平成30年度に実施したプロポーザル方式による委託事業者の選定により, 令和元年度から, 新たに八雲台小学校の学校給食調理業務委託を行い, 更なる民間活力の活用を進めることができました。</p> <p>○緑ヶ丘小学校の給食室の改修工事に伴い, 関係部署との協議を経て, プロポーザル方式による委託事業者の再選定を行ったことにより, 仕様の変更に伴う随意契約の見直しを図ることができました。</p> <p>○委託校において, 学校連絡会を開催し, 委託各校の調理業務等が適切に運営されていることを確認できました。</p> <p>○調布市学校給食調理業務等委託運営検討委員会を開催し, 1学期及び2学期の評価を基に, 調理業務等の状況を確認・検証しました。</p>
14	窓口サービス及び内部事務における民間活力の活用	行財政改革課 関係各課	<ul style="list-style-type: none"> ◆民間活力の活用に向けた現行の業務内容の分析 ◆窓口サービス及び内部事務における民間活力の活用検討, 実施 	A	<p>○高齢者支援室(介護保険担当)の事務を対象に, 民間活力の活用を視野に業務量の把握や委託化に向けた分析, 課題の整理等を行い, アウトソーシングが可能な業務の抽出やアウトソーシングを行う際の業務フロー等の整理を行いました。なお, アウトソーシングについては, 継続して検討することとしました。</p> <p>○次年度は税3課(市民税課, 資産税課, 納税課)の業務を対象に, アウトソーシングのみならず, 業務フローの見直しや, デジタル技術の活用による効率化など, 多角的な視点から業務改革につなげるための業務分析に取り組むこととしました(新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ, 令和2年度の業務分析は中止としました)。</p>
15	指定管理者制度の活用	行財政改革課 関係各課	<ul style="list-style-type: none"> ◆せんがわ劇場への指定管理者制度の導入 ◆指定管理者制度の導入検討 ◆指定管理業務に関する評価の実施 ◆指定管理業務に関する評価の仕組みの見直し(モニタリング評価) 	A	<p>○新たにせんがわ劇場に指定管理者制度を導入するとともに, 施設所管課において, 適切な運営の確保に努めました。</p> <p>○指定管理者による施設の管理運営状況等について, 全庁統一的な評価を実施し, 評価結果を公表することにより, 指定管理者による各施設の適切な維持管理や利用者への適切なサービス提供の確保を推進することができました。</p> <p>○モニタリング評価の仕組みについて, 庁内検討会での議論や施設所管課との情報共有, 意見交換等を行いながら, 実効性と効率性の向上の視点から見直しを行い次年度から運用することとしました。</p>
16	マイナンバー制度の適切な運用	政策企画課 行財政改革課 総務課 情報管理課 市民課 関係各課	<ul style="list-style-type: none"> ◆マイナンバー(個人番号)カードの取得促進 ◆マイナンバー制度に関する各種広報 ◆マイナンバーを活用したサービス向上, 事務の効率化の検討・実施 	A	<p>○マイナンバー制度の円滑かつ適切な制度運用を図るとともに, 国や近隣自治体の動向を踏まえた総合的な観点から市民サービス向上に向け, マイナンバーカードの活用検討を進めることができました。</p> <p>○令和2年2月5日からマイナンバーカードを活用した市民税の課税・非課税証明書及び所得証明書のコンビニ交付を開始することで, 市民サービスの向上を図るとともに, マイナンバーカードの交付促進に取り組みました。</p>
17	災害対応能力の向上	総合防災安全課	<ul style="list-style-type: none"> ◆BCPに基づく対応能力の向上等に向けた職員研修の実施 ◆必要に応じたBCPの見直し ◆災害対応に関する職員訓練の実施 ◆災害対策に関する協定の締結及び協定締結先との連携 	A	<p>○「職員防災研修」や「避難所運営研修」の実施を通じて, 各部署における防災対策の取組や職員の防災に関する認識を深めることができました。</p> <p>○災害時相互応援協定を締結している富山市の総合防災訓練に参加しました。</p>

No	プラン名	担当課	年度別計画 (令和元年度)	年次 評価	総括 (主な取組, 取組による成果等)
18	新型インフルエンザ等への対応	健康推進課	<ul style="list-style-type: none"> ◆住民接種検証会に向けた関係機関等との調整 ◆新型インフルエンザ等対策研修 ◆必要物資等の備蓄 	A	<p>○新型インフルエンザへの対応として、新型インフルエンザ住民接種等検討会議において、東京都が作成した住民接種の手引について、関係機関との意見交換を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、書面開催による情報共有としました。必要物資等の備蓄について、備蓄予定の物品及び数量を提示し、物品の過不足や備蓄が必要な物品などについて、各関係機関から意見聴取を行いました。また、関係部署の職員を対象に新型インフルエンザ等対策研修を実施しました。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症への対応として、国や東京都の動向を踏まえつつ、調布市医師会と連携し、調布市健康危機管理対策本部連絡会及び調布市健康危機管理対策本部会にて情報共有を行い、各種対策を進めました。また、国や東京都等から得た情報に基づき、ホームページ、市報、ケーブルテレビ、調布FM等を通じて感染症予防対策や各種支援策を周知しました。さらに、市が管理する施設に感染症予防対策として、手指消毒薬を配備しました。</p>
19	業務上のリスクへの対応	法制課 会計課 行財政改革課 関係各課	<ul style="list-style-type: none"> ◆法律相談等の活用による法的リスクへの適切な対応の推進 ◆適正な会計処理及び確実な支払処理 ◆他自治体の取組事例の調査 	A	<p>○任期付法務専門職による行政実務法律相談事業（通称：法務ドクター事業）により、問題が起きる前に事務所管課の対応を法的な側面から積極的にサポートすることで、事前に業務上のリスク回避を図ることができました。</p> <p>○法的見解を求められる事案について、速やかに市の顧問弁護士による行政事務法律相談に繋げることで、業務上のリスクを事前に把握することができました。</p> <p>○精算業務の簡素化及び伝送払いを毎日行うことにより、全庁的な会計事務の簡素化及び電子化を推進し、支払遅延や誤払いのリスクの軽減につなげることができました。</p>
20	多様な契約手法の検討・活用	契約課	<ul style="list-style-type: none"> ◆プロポーザルガイドラインに関する他自治体事例の調査、研究 ◆多様な契約手法の検討、活用 	A	<p>○プロポーザル方式の運用について庁内アンケートを行ったほか、運用改善に向けて多摩地域の各市へプロポーザルガイドラインに関する調査を実施するなど、調査研究を行いました。</p> <p>○包括的委託を実施している自治体について情報収集するなど、多様な契約手法について検討を行いました。</p>

【方針3】 人材の確保・育成

No	プラン名	担当課	年度別計画 (令和元年度)	年次 評価	総括 (主な取組, 取組による成果等)
21	人材の確保とやりがいや意欲を高める仕組みづくり	人事課	<ul style="list-style-type: none"> ◆採用案内等における市業務等の積極的なPRを通じた人材の確保 ◆特定任期付職員の継続的任用及び新たな分野での採用検討 ◆会計年度任用職員制度の導入準備 ◆職員のやりがいや意欲の向上に向けた人事・給与制度の適切な運用、改善 	A	<p>○人材確保に向け、採用試験受験者に公務の魅力や、やりがいを伝える取組について、実施方法や内容の検討を進めることができました。</p> <p>○特定任期付職員（指導室）の採用試験を実施し、専門分野（特別支援教育）における人材を確保することができました。</p> <p>○会計年度任用職員制度への移行に向けて、職員における制度理解を深めることができました。</p> <p>○係長職以下への目標管理型人事評価の導入に伴い、説明会を通じて評価者や被評価者における制度理解を図るとともに、制度の定着に向けた取組を進めることができました。</p>
22	人材育成基本方針に基づく研修の推進	人事課	<ul style="list-style-type: none"> ◆各種研修の実施及び検証に基づく見直し ◆各職場におけるOJTの推進 ◆自己研鑽意欲の向上及び支援 	A	<p>○市独自研修の検証及び企画・実施（新たに実施した業務改善研修の検証、政策形成能力の向上を図る研修の検討）を行い、研修カリキュラムの改善につなげることができました。</p> <p>○職場研修の実施状況の確認及びチューター養成研修（中・後期）を実施し、OJTの推進を図ることができました。</p> <p>○通信教育研修の推進、自主研究グループへの支援を行い、職員の自身のスキルアップに取り組む意欲の向上を図ることができました。</p>

No	プラン名	担当課	年度別計画 (令和元年度)	年次 評価	総括 (主な取組, 取組による成果等)
23	政策法務能力の向上	法制課	<ul style="list-style-type: none"> ◆政策法務能力向上に関する研修の実施 ◆法務専門職による行政実務法律相談（通称：法務ドクター事業）及び法務に関する情報提供の実施 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○「職員の政策法務能力向上の取組」の取組体系に基づき、任期付法務専門職による「研修」と「相談」を2大柱とする取組を実施することで、職員の政策法務能力の向上に寄与することができました。 ○職員を対象とした行政実務法律相談事業（通称：法務ドクター事業）を実施し、相談件数は128件となりました。 ○法務ドクター事業で多く寄せられた質問については、法務ニュースレターで職員に周知を図るなど、職員からの需要に応じた適切な情報提供を行うことができました。
24	ワーク・ライフ・バランスの実現と誰もが活躍できる職場環境づくりの推進	人事課	<ul style="list-style-type: none"> ◆変則勤務やテレワーク等を活用した柔軟で多様な働き方の推進 ◆時間外勤務縮減及び定時退庁の推進 ◆女性職員の活躍推進に関する取組の推進 ◆安心して働き続けられる環境づくりの推進 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○変則勤務の試行実施の継続及び在宅勤務型テレワーク環境の拡充検討を行う等、多様な働き方ができる職場環境の整備を進めました。 ○「調布市職員の意識改革・働き方改革推進に関する方針（令和元年7月25日市長決定）」に基づく取組として時間外勤務の上限時間を規則（令和2年4月1日施行）に定め、取組の強化を図りました。 ○女性職員のキャリア形成支援として、プレワークینگママセミナー、ナイスボス・グッドパートナー研修、女性の健康管理セミナーを実施しました。 ○各職層研修でハラスメント防止に関する取組の周知やハラスメント防止研修（係長職以下の職員対象）を実施したほか、メンタルヘルス対策などに取り組み、安心して働き続けられる環境づくりの推進を図ることができました。

【方針4】 計画行政の推進

No	プラン名	担当課	年度別計画 (令和元年度)	年次 評価	総括 (主な取組, 取組による成果等)
25	PDCAマネジメントサイクルによる行財政運営	行財政改革課	<ul style="list-style-type: none"> ◆施策評価及び事務事業評価の実施 ◆行政評価の見直し ◆行政評価支援システムの活用 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○令和元年度においては、後期基本計画の初年度に当たり、前年度の振り返り評価を、後期基本計画の進行管理や令和2年度の予算編成において活用することで、後期基本計画の着実な推進につなげることができました。 ○財務会計システムと行政評価支援システムの連動によるメリットを活かし、財務会計システムでの令和2年度予算の見積入力において、評価結果の参照機能の活用を図りました。
26	補助金と受益者負担の適正化	財政課 行財政改革課	<ul style="list-style-type: none"> ◆補助金等交付状況の公表 ◆補助金等評価の結果に基づく見直し等の取組推進 ◆受益者負担の在り方検証 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○平成29年度補助金等交付状況一覧表をホームページで公表し、補助金等の交付の透明性を図りました。 ○前年度までの評価で検討継続とした補助金等の見直しについて、「経常経費の縮減」の取組と連携して取り組みました。 ○受益者負担の在り方検証のため、使用料及び手数料の現状について、各所管課に調査を行いました。
27	行財政改革推進会議の活用	行財政改革課	<ul style="list-style-type: none"> ◆行財政改革推進会議における意見聴取等の実施 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○第10回行財政改革推進会議を開催し、道路インフラマネジメントの取組や、クリーンセンター跡地活用事業及び行革プラン2019の取組状況を説明し、意見聴取を行うことで、市においてそれぞれの取組を推進するに当たり、参考とすることができました。

No	プラン名	担当課	年度別計画 (令和元年度)	年次 評価	総括 (主な取組, 取組による成果等)
28	財政規律ガイドラインに基づく財政運営	財政課	<ul style="list-style-type: none"> ◆ガイドライン設定項目に基づく進行管理(予算編成・予算執行) ◆固定資産台帳の更新及び財務書類の作成 	A	<p>○補正予算編成通知等を通じて、適切な予算執行を推進するとともに、財政規律ガイドライン設定項目を踏まえ、令和2年度予算編成を行いました。</p> <p>○平成30年度の実質収支を基金積立てに優先配分することとし、市税の減収への対応などに備える財政調整基金や、今後大きな需要が見込まれる公共施設整備基金などの充実を図りました。</p> <p>○統一的な基準による財務書類等(平成30年度決算分(一般会計等, 地方公共団体全体及び連結))と平成30年度決算固定資産台帳を作成し、市ホームページにおいて公表しました。</p>
29	事務事業等の見直し, 改善による経常経費の縮減	行財政改革課 財政課	<ul style="list-style-type: none"> ◆既存事業の検証等に基づく経常経費の抑制・縮減 ◆経常経費縮減の観点を踏まえた次年度予算編成 	A	<p>○令和2年度に向けた視点及び複数年次の視点で、対象事業に関する見直し余地等を検討し、関係各課と調整したうえで、令和2年度予算に反映しました。</p> <p>○経常経費の抑制・縮減の観点を踏まえた、令和2年度予算編成を行いました。</p>
30	積極的な財源の確保と財政負担の抑制	行財政改革課 財政課	<ul style="list-style-type: none"> ◆各種刊行物における広告料収入の確保 ◆官民連携による財源確保や財政負担の抑制に関する取組の検討, 実施 ◆寄附による財源確保方策の検討 	A	<p>○広告料収入では、市のホームページのバナー広告等において、目標額の9割以上となる954万1300円を確保することができました。</p> <p>○クリーンセンター跡地活用事業において、公民連携手法を活用し、敷地を有効活用(事業用定期借地権設定契約)することにより、令和3年度からの歳入確保につなげることができました。</p> <p>○子ども・若者基金の寄附促進のため、広報パンフレットを作成し、ホームページで公表しました。</p>
31	普通財産の有効活用・処分	管財課	<ul style="list-style-type: none"> ◆普通財産の適正な管理, 有効活用, 処分 ◆赤道・水路等・畦畔の適正な管理, 売払い促進 	S	<p>○普通財産の貸付けを行いました(371万円余(17件))。</p> <p>○普通財産の売払いを行いました(7688万円余(2件))。</p>
		道路管理課	<ul style="list-style-type: none"> ◆赤道・水路等・畦畔の現状整理, 売払い事務に関する方針検討 		<p>○未利用道路・水路・畦畔等の売払いを行いました(9691万円余(22件))。</p>
32	市税収納率の維持・向上	納税課	<ul style="list-style-type: none"> ◆期限内納付の推進 ◆多様な納付手段の活用 ◆収納体制の整備 ◆市税収納率98.0%以上 	S	<p>○令和元年度における収納率は以下のとおりとなりました。 現年分: 99.4%(前年度: 99.3%(0.1ポイント増)) 滞納繰越分: 54.8%(前年度: 42.0%(12.8ポイント増)) 合計: 98.9%(前年度: 98.4%(0.5ポイント増))</p> <p>○「ペイジー収納サービス」を令和2年1月から開始し、市民の利便性が向上しました。</p> <p>○効率的な滞納整理や市民の利便性向上など安定した収納額の確保に向けた取組の推進と併せて、人材育成や組織力向上を図ることで、収納率の維持・向上に努めました。その結果、平成以降最高であった昨年度の合計収納率を上回ることができました。</p>
33	国民健康保険税収納率の維持・向上	保険年金課	<ul style="list-style-type: none"> ◆期限内納付の推進 ◆多様な納付手段の活用 ◆収納体制の整備 ◆国保税収納率80.9%以上 	S	<p>○令和元年度における収納率は以下のとおりとなりました。 現年分: 92.84%(前年度: 92.74%(0.1ポイント増)) 滞納繰越分: 28.93%(前年度: 31.78%(2.85ポイント減)) 合計: 82.28%(前年度: 82.27%(0.01ポイント増))</p> <p>○滞納の長期化を防ぎ、滞納繰越額の縮減を図るため、現年優先の徴収に取り組んだ結果、現年度分の収納率については、前年度実績を上回りました。あわせて、合計収納率も前年度実績を上回ることができました。</p>

No	プラン名	担当課	年度別計画 (令和元年度)	年次 評価	総括 (主な取組, 取組による成果等)
34	給付・医療費の適正化	保険年金課	<ul style="list-style-type: none"> ◆レセプト点検の推進 ◆柔道整復等療養費支給申請の二次点検の推進 ◆ジェネリック医薬品の使用促進 	S	<p>○AI・RPAを活用した医科等レセプトの点検委託を導入することにより、点検効果を一層高めるとともに、経費縮減を図り、一層の給付・医療費の適正化につなげることができました。</p> <p>○医科等レセプト点検による過誤調整額は、9925万円余となり、医療費の適正化を推進することができました。</p> <p>○ジェネリック医薬品の利用促進に向けて、毎月、利用促進通知を送付するとともに、国民健康保険の新規加入手続時にジェネリック医薬品希望カードを配布し、1億8870万円余の調剤医療費の縮減につなげることができました。</p>
35	債権管理の推進	財政課 法制課 関係各課	<ul style="list-style-type: none"> ◆統一ルールに基づく債権管理の推進及び統一ルールの改訂 ◆債権管理の対応事例等の整理・活用 ◆収入未済額縮減の推進 	A	<p>○所管課からの相談等において法律上の観点が必要な場合などに、法制課と連携して法曹有資格者が助言・支援を行うことにより、適切な債権管理を推進することができました。</p> <p>○市の統一ルール等に基づき、過去から累積している収納見込みの低い債権の処理を行ったことで、収納業務の効率化を図ることができました。</p>
36	公共施設マネジメントの推進	公共施設マネジメント担当 営繕課 行財政改革課 政策企画課 関係各課	<ul style="list-style-type: none"> ◆公共施設等総合管理計画の基本方針等に基づく取組の検討、推進 ◆公共施設マネジメントに関する庁内横断的な検討 ◆公共施設マネジメント推進体制の検討 ◆「(仮称)公共施設マネジメント計画」の策定検討 ◆公共建築物維持保全計画に基づく適正な改修工事等の実施 	A	<p>○公共施設等マネジメント推進検討会議等を活用し、庁内横断的な連携を図りながら、公共施設マネジメントの取組を推進しました。</p> <p>○今後の公共施設マネジメントの推進体制を検討するに当たり、他団体を視察し、現状の執行体制や課題などについての情報収集を行いました。今後も引き続き、公共施設マネジメント推進体制の確立に向け、検討を進めます。</p> <p>○令和2年度に予定している(仮称)公共施設マネジメント計画の策定に向け、個別施設の在り方、方向性の検討を進めることができました。</p> <p>○公共建築物維持保全計画に基づき、基本計画に位置付けた改修工事等を適切に実施しました。</p>
37	インフラマネジメントの推進	緑と公園課 下水道課 道路管理課 公共施設マネジメント担当 行財政改革課	<ul style="list-style-type: none"> ◆公共施設等総合管理計画の基本方針等に基づく取組の検討、推進 ◆インフラマネジメントに関する庁内横断的な検討 ◆公園施設の適正管理、長寿命化、ライフサイクルコスト等縮減の推進 ◆下水道施設の適正管理、長寿命化、ライフサイクルコスト等縮減の推進 ◆道路施設の適正管理、長寿命化、ライフサイクルコスト等の縮減の推進 	A	<p>○公共施設等マネジメント推進検討会議等を活用し、庁内横断的な連携を図りながら、インフラマネジメントの取組を推進しました。</p> <p>○公園施設長寿命化計画に基づき、公園や児童遊園に設置している遊具等の改築・更新工事を実施しました。</p> <p>○下水道施設のストックマネジメント計画策定準備を進める中で、現在の仙川汚水中継ポンプ場を自然流下方式へ切替える方向性を決定しました。</p> <p>○道路の総合的な管理の在り方を検討するに当たり、関連する委託業務を有機的に連動させるとともに、道路施設の施設量、維持管理経費等の把握につなげることができました。また、有識者で構成する調布市道路総合管理計画策定等推進委員から意見聴取を実施し、検討を進めることができました。</p>
38	市庁舎の長寿命化等と将来的な更新の検討	管財課 公共施設マネジメント担当 行財政改革課	<ul style="list-style-type: none"> ◆市庁舎免震改修工事の実施 ◆市庁舎の長寿命化等の視点を踏まえた維持保全の検討、実施 ◆市庁舎更新に関する方向性の検討 	A	<p>○適正な工程管理に努めながら、市庁舎の免震改修工事を進めることができました。</p> <p>○基本計画に位置付けた公共建築物維持保全等の取組に基づき、市庁舎防災設備改修工事(非常用放送設備、自動火災報知設備)を実施しました。</p> <p>○更新後の市庁舎に必要な機能、事業手法等の市庁舎更新に向けた課題を整理し、年度別計画に位置付けている令和4年度における基金条例制定に向けた年次毎の取組内容を整理しました。</p>

No	プラン名	担当課	年度別計画 (令和元年度)	年次 評価	総括 (主な取組, 取組による成果等)
39	グリーンホール及び総合福祉センターの在り方検討, 整備の推進	文化生涯学習課 福祉総務課 公共施設マネジメント担当 行財政改革課	<p>◆総合福祉センターの移転・更新を見据えた今後の方向性及び施設整備の考え方の整理, 整備方針の策定</p> <p>◆グリーンホールの10年以内を目途とする建替えを見据えた施設整備の考え方の整理, 整備方針の策定</p>	B	<p>○公共施設等マネジメント推進検討会議を実施し, 庁内横断的な連携を図りながら, (仮称)調布駅周辺大型公共施設(総合福祉センター・グリーンホール)に関する整備の考え方の整理に向けた検討を進めました。</p> <p>○総合福祉センターの移転・更新を見据えて, 現状確認や関係団体との協議を進めました。</p> <p>○グリーンホールの建替えを見据えた施設機能を検討するため, 参考事例となる他自治体ホールの視察を行ったほか, これまでの取組状況等について, 施設利用団体との情報共有・意見交換を行いました。</p> <p>○令和元年度末までに整備に関する考え方を整理することを目指していましたが, 各団体とのより丁寧な調整が必要なため, 令和2年度において施設整備の考え方を取りまとめることとしました。</p>
40	学校施設における長寿命化等の推進	教育総務課 公共施設マネジメント担当 行財政改革課	<p>◆学校施設整備方針に基づく長寿命化等の実施</p> <p>◆学校施設における改修方法等の検討, 整理</p>	A	<p>○学校施設の長寿命化, 児童生徒数の将来推計を見据えた不足教室対策, 食物アレルギー対策の推進及び避難所機能強化など, 調布市学校施設整備方針の基本的な考え方に基づく学校整備を実施することができました。</p> <p>○若葉小学校では, 令和2年度に見込まれる不足教室対策として, 既存のパソコン室を普通教室に改修したほか, 令和3年度以降見込まれる不足教室対策として仮設校舎建築の検討を進めました。また, 関係部署と連携しながら, 今後の施設整備や施設の在り方に関する基本的な考え方を整理するとともに, 今後の施設整備における課題についても併せて整理しました。</p>
41	官民連携手法によるクリーンセンター跡地活用の推進	政策企画課 高齢者支援室 公共施設マネジメント担当 行財政改革課	<p>◆クリーンセンター移転後の跡地活用に関する官民連携事業の推進(クリーンセンター跡地における施設整備, 運営)</p> <p>◆旧クリーンセンター施設の解体</p> <p>◆深大寺老人憩の家の機能移転の検討</p>	A	<p>○公共施設等総合管理計画に基づく公民連携のモデル事業として, クリーンセンター移転後の跡地を活用した, 地域ニーズへの対応や行政課題の解決に資する施設を整備するに当たり, 事業者公募プロポーザル審査を実施し, 事業者を選定することができました。</p> <p>○深大寺老人憩の家の機能移転を検討するに当たり, 利用者にアンケートを実施することで, 施設機能についての要望等を把握することができました。</p>

(4) 令和元年度の取組における財政効果額

令和元年度の取組において得られた財政効果額は、以下のとおりです。

事務事業等の見直し、医療給付費の適正化等によるコスト縮減を図るとともに、保有資産の有効活用・処分やホームページ等への広告掲載等による財源確保に努めた結果、約5億3011万円の財政効果を得ることができました。

取組 (カッコ内は関連するプラン)	令和元年度における 主な取組内容	令和元年度 財政効果額
事務事業等の見直し、改善 (プラン29関連)	経常経費の抑制・縮減	5510万円
広告料収入等の確保 (プラン30関連)	ホームページや刊行物等における広告掲載	954万円
普通財産の貸付け・売払い (プラン31関連)	普通財産の貸付け・売払い 未利用道路・水路の売払い	1億7751万円
レセプト点検及びジェネリック 医薬品の使用促進 (プラン34関連)	レセプト点検による適正化 ジェネリック医薬品の使用促進	2億8796万円
合 計 額		5億3011万円

※ 金額は表示単位未満を四捨五入しています。

(5) 個別プランにおける状況の変化等を踏まえた年度別計画の見直し

行革プラン2019に基づき取組を推進している各プランにおいては、進捗状況や市政を取り巻く社会環境の変化等に応じて柔軟に取組の見直し等を行うこととしています。

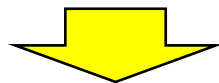
そのため、個別プランにおける状況の変化等を踏まえ、より適切な取組を推進し、今後の成果向上を図るため、以下のプランの年度別計画を見直しました。引き続き、各プランの進行管理を着実にしながら、取組を推進していきます。

「プラン17 災害対応能力の向上」（総合防災安全課）

⇒台風被害や新型コロナウイルス感染症を踏まえ、災害発生時における対応強化及びより適切な対応につなげる観点からの取組を追加します。

【現行】

	令和元（2019）年度	令和2（2020）年度	令和3（2021）年度	令和4（2022）年度
年度別計画	◆BCPに基づく対応能力の向上等に向けた職員研修の実施	◆継続	◆継続	◆継続
	◆必要に応じたBCPの見直し	◆継続	◆継続	◆継続
	◆災害対応に関する職員訓練の実施	◆継続	◆継続	◆継続
	◆災害対策に関する協定の締結及び協定締結先との連携	◆継続	◆継続	◆継続



【見直し後】

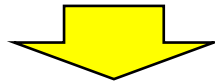
	令和元（2019）年度	令和2（2020）年度	令和3（2021）年度	令和4（2022）年度
年度別計画	◆BCPに基づく対応能力の向上等に向けた職員研修の実施	◆継続	◆継続	◆継続
	◆必要に応じたBCPの見直し	◆継続	◆継続	◆継続
	◆災害対応に関する職員訓練の実施	◆継続	◆継続	◆継続
	◆災害対策に関する協定の締結及び協定締結先との連携	◆継続	◆継続	◆継続
		◆災害時の情報収集・発信機能の強化及び避難所運営等の見直し検討、実施	◆継続	◆継続

「プラン18 新型インフルエンザ等への対応」（健康推進課）

⇒新型コロナウイルス感染症や東京都の動向を踏まえ、感染症対策の強化や既存の行動計画の見直しを図る観点からの取組を追加します。

【現行】

	令和元（2019）年度	令和2（2020）年度	令和3（2021）年度	令和4（2022）年度
年度別計画	◆住民接種検証会に向けた関係機関等との調整	◆住民接種検証会の実施	◆住民接種検証会を踏まえた住民接種マニュアルの見直し検討、実施	◆継続
	◆新型コロナウイルス等対策研修		◆必要に応じたBCPの見直し	
	◆必要物資等の備蓄	◆継続	◆継続	



【見直し後】

	令和元（2019）年度	令和2（2020）年度	令和3（2021）年度	令和4（2022）年度
年度別計画	◆住民接種検証会※1に向けた関係機関等との調整	◆ <u>新型インフルエンザ等住民接種実施計画の策定</u>	◆住民接種検証会の実施	◆ <u>住民接種検証会を踏まえた住民接種実施計画の見直し検討、実施</u>
		◆ <u>新型コロナウイルス感染症を踏まえた感染症対策の検討、実施</u>	◆継続	◆継続
	◆新型コロナウイルス等対策研修		◆ <u>新型インフルエンザ等対策行動計画の改訂検討</u>	◆継続
	◆必要物資等の備蓄	◆継続	◆必要に応じたBCPの見直し	◆継続
			◆新型コロナウイルス等対策研修	◆継続
			◆継続	◆継続

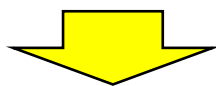
※1 住民接種検証会…住民への予防接種の円滑な実施に向けた調布市医師会との実施訓練のこと

「プラン32 市税収納率の維持・向上」（納税課）

⇒これまでの収納実績や新型コロナウイルス感染症の影響も踏まえ、年度別計画に位置付ける新たな目標収納率を設定します。

【現行】

	令和元（2019）年度	令和2（2020）年度	令和3（2021）年度	令和4（2022）年度
年度別計画	◆期限内納付の推進	◆継続	◆継続	◆継続
	◆多様な納付手段の活用	◆継続	◆継続	◆継続
	◆収納体制の整備	◆継続	◆継続	◆継続
	◆市税収納率 98.0%以上	◆目標収納率の見直し検討・再設定後の目標収納率以上	◆再設定後の目標収納率以上	◆継続



【見直し後】

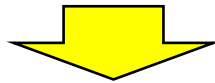
	令和元（2019）年度	令和2（2020）年度	令和3（2021）年度	令和4（2022）年度
年度別計画	◆期限内納付の推進	◆継続	◆継続	◆継続
	◆多様な納付手段の活用	◆継続	◆継続	◆継続
	◆収納体制の整備	◆継続	◆継続	◆継続
	◆市税収納率 98.0%以上	◆再設定後の市税目 標収納率 98.0%以上	◆継続	◆継続

「プラン33 国民健康保険税収納率の維持・向上」（保険年金課）

⇒これまでの収納実績や新型コロナウイルス感染症の影響も踏まえ、年度別計画に位置付ける新たな目標収納率を設定します。

【現行】

	令和元（2019）年度	令和2（2020）年度	令和3（2021）年度	令和4（2022）年度
年度別計画	◆期限内納付の推進	◆継続	◆継続	◆継続
	◆多様な納付手段の活用	◆継続	◆継続	◆継続
	◆収納体制の整備	◆継続	◆継続	◆継続
	◆国保税収納率 80.9%以上	◆目標収納率の見直し検討・再設定後の目標収納率以上	◆再設定後の目標収納率以上	◆継続



【見直し後】

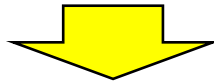
	令和元（2019）年度	令和2（2020）年度	令和3（2021）年度	令和4（2022）年度
年度別計画	◆期限内納付の推進	◆継続	◆継続	◆継続
	◆多様な納付手段の活用	◆継続	◆継続	◆継続
	◆収納体制の整備	◆継続	◆継続	◆継続
	◆国保税収納率 80.9%以上	◆再設定後の国保税 目標収納率 82.0%以上	◆継続	◆継続

「プラン41 官民連携手法によるクリーンセンター跡地活用の推進」
 (政策企画課, 高齢者支援室, 公共施設マネジメント担当, 行財政改革課)

⇒令和元年度に選定した事業者における施設整備計画に基づき, 深大寺老人憩の家の機能移転時期の変更を行います。

【現行】

	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度
年度別計画	◆クリーンセンター移転後の跡地活用に関する官民連携事業の推進(クリーンセンター跡地における施設整備, 運営)	◆継続	◆継続	◆継続
	◆旧クリーンセンター施設の解体	◆継続		
	◆深大寺老人憩の家の機能移転の検討	◆(仮称)公共施設マネジメント計画への反映	◆深大寺老人憩の家の機能移転	



【見直し後】

	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度
年度別計画	◆クリーンセンター移転後の跡地活用に関する官民連携事業の推進(クリーンセンター跡地における施設整備, 運営)	◆継続	◆継続	◆継続
	◆旧クリーンセンター施設の解体	◆継続		
	◆深大寺老人憩の家の機能移転の検討	◆(仮称)公共施設マネジメント計画への反映	◆深大寺老人憩の家の機能移転の準備	◆深大寺老人憩の家の機能移転